

2021年3月期

決算説明会資料

2021年5月20日



株式会社 メイコー
(証券コード：6787)

注意事項

本資料には過去の事実以外に今後の業績予想等・戦略が含まれますが、本資料は金融商品取引法の開示情報ではありません。

これらの予想は過去の事実ではなく、現時点で当社が把握できる情報で判断した想定及び所見で作成したものです。

特に電子回路基板業界では原材料価格の変化、多様な顧客市場動向、技術動向の変化、為替変化、税制・諸制度の変更、自然災害、国際紛争、その他、新型コロナウイルス等の感染症を含め、様々なリスク・不確実性があり、実際の実績は予想と異なることがあります。

1

2021年3月期実績

2

2022年3月期予想

3

中期生産方針

2021年3月期 連結実績

(単位：億円)

	2020年3月期実績	2021年3月期実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	1,155	1,193	38	3.3%
営業利益	52 4.5%	67 5.6%	15	28.3%
経常利益	48 4.2%	57 4.8%	9	19.0%
当期純利益	26 2.2%	46 3.9%	20	79.4%
期中平均為替レート (円 / USD)	108.93	105.93		
配当	30円	20円		

売上高と営業利益推移

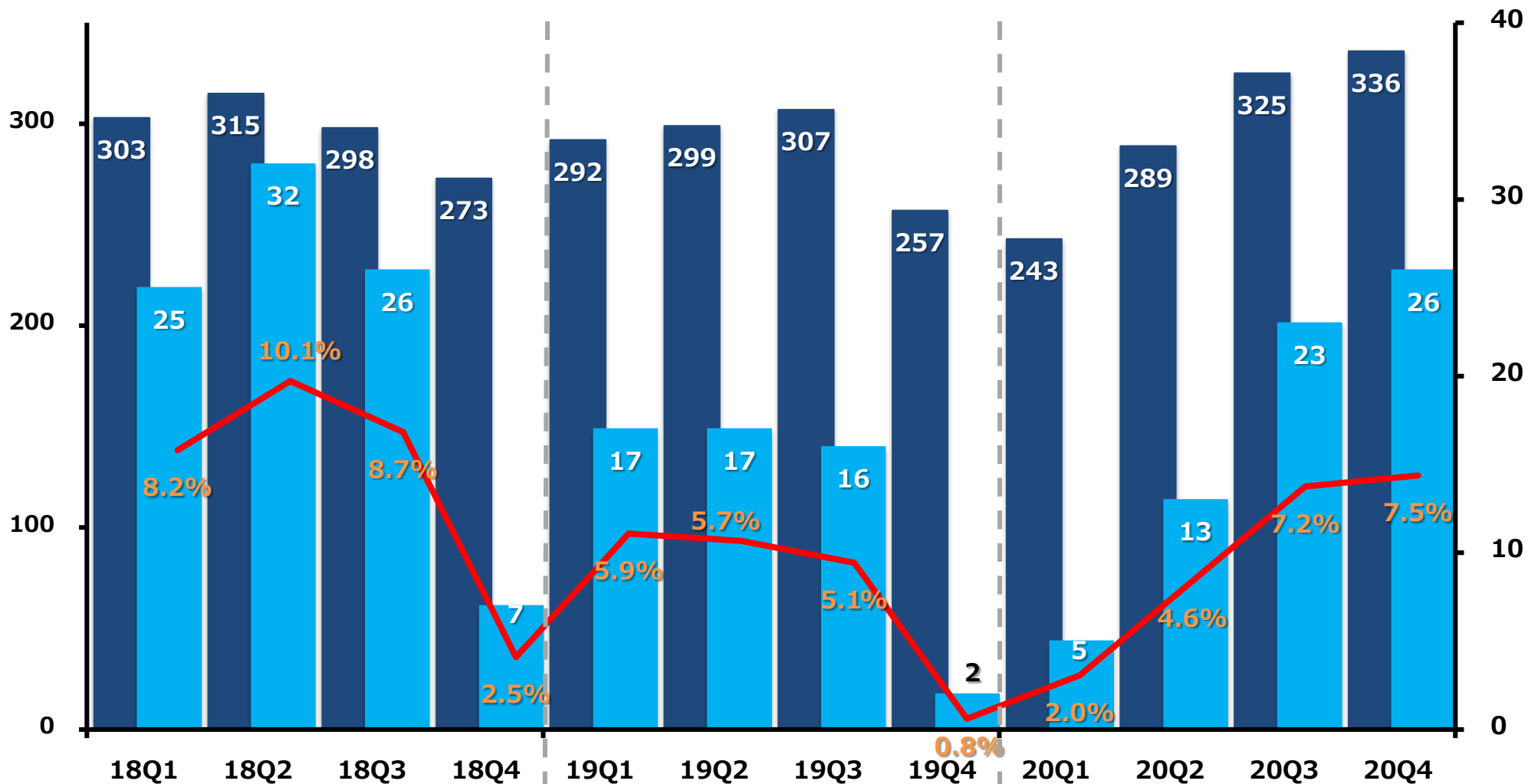
売上高
(億円)

売上高

営業利益

営業利益率

営業利益
(億円)



2021年3月期 商品別収益実績

(単位：億円)

	2020年3月期		2021年3月期		前期比	
	売上高	営業利益 営業利益率	売上高	営業利益 営業利益率	売上高 伸び率	営業利益 伸び率
車 載	534	29 5.4%	523	36 6.9%	-11 -2.1%	7 24.1%
スマートフォン タブレット	249	18 7.2%	288	21 7.3%	39 15.7%	3 16.7%
AI家電・IoT・ アミューズメント	86	7 8.1%	103	8 7.8%	17 19.8%	1 14.3%
その他商品	190	-2 -1.1%	163	2 1.2%	-27 -14.2%	4 200.0%
E M S	96	0 0.0%	116	0 0.0%	20 20.8%	0 -
合 計	1,155	52 4.5%	1,193	67 5.6%	38 3.3%	15 28.3%

1

2021年3月期実績

2

2022年3月期予想

3

中期生産方針

2022年3月期 連結予想

(単位：億円)

	2021年3月期実績	2022年3月期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	1,193	1,350	157	13.2%
営業利益	67 5.6%	95 7.0%	28	42.7%
経常利益	57 4.8%	87 6.4%	30	52.7%
当期純利益	46 3.9%	75 5.6%	29	61.6%
期中平均為替レート (JPY / USD)	105.93	108.00		
配当	20円	40円		
自己資本比率	28.5%	32%		
売上高有利子負債比率	56.5%	44%		
1株当たり当期純利益	177.33円	288円		

2022年3月期 商品別収益予想

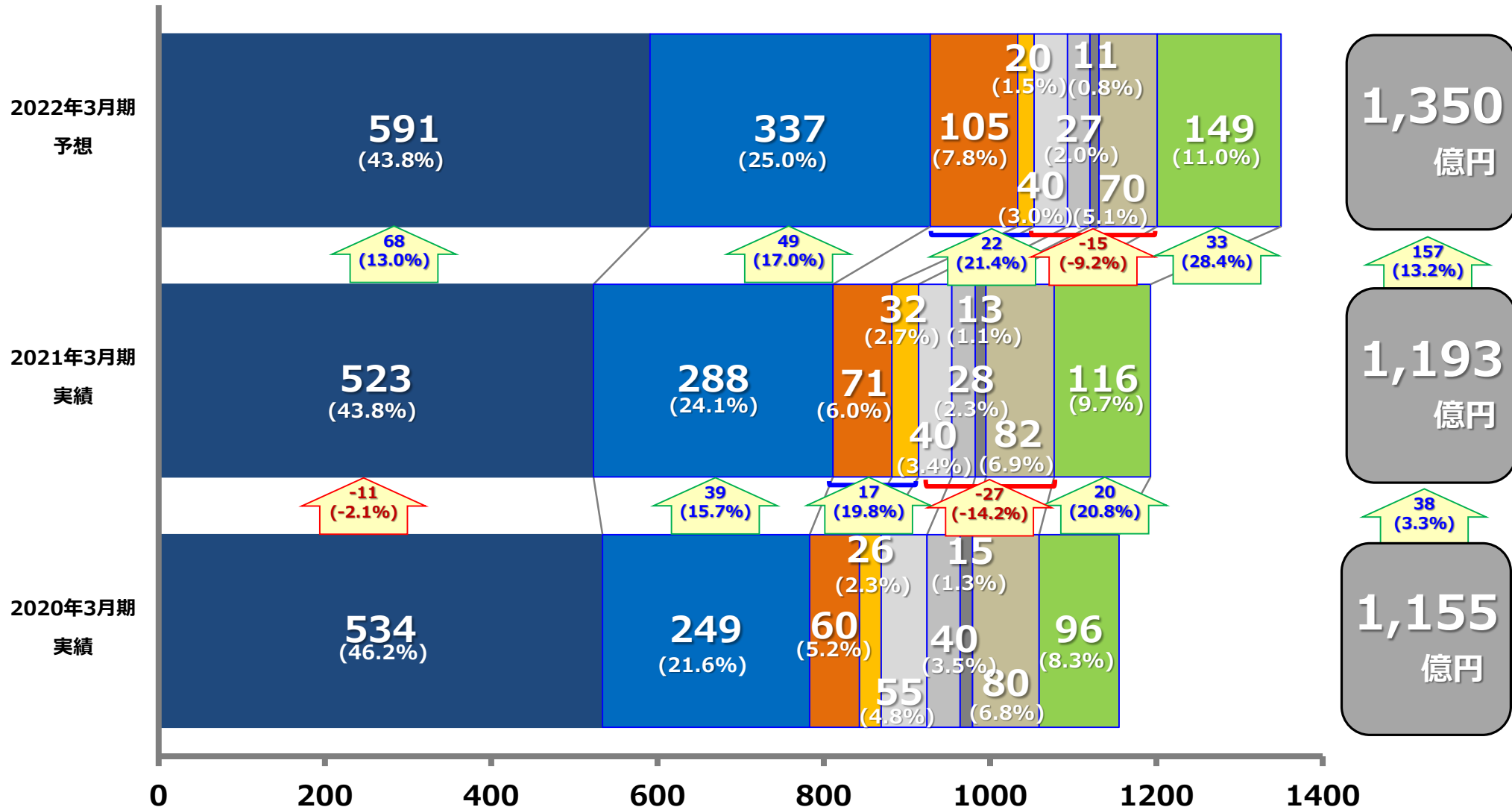
(単位：億円)

	2021年3月期実績		2022年3月期予想		前期比	
	売上高	営業利益 営業利益率	売上高	営業利益 営業利益率	売上高 伸び率	営業利益 伸び率
車 載	523	36 6.9%	591	38 6.4%	68 13.0%	2 5.6%
スマートフォン タブレット	288	21 7.3%	337	34 10.1%	49 17.0%	13 61.9%
AI家電・IoT・ アミューズメント	103	8 7.8%	125	13 10.4%	22 21.4%	5 62.5%
そ の 他 商 品	163	2 1.2%	148	9 6.1%	-15 -9.2%	7 350.0%
E M S	116	0 0.0%	149	1 0.7%	33 28.4%	1 -
合 計	1,193	67 5.6%	1,350	95 7.0%	157 13.2%	28 42.7%

商品別売上高 実績・予想

(単位：億円)

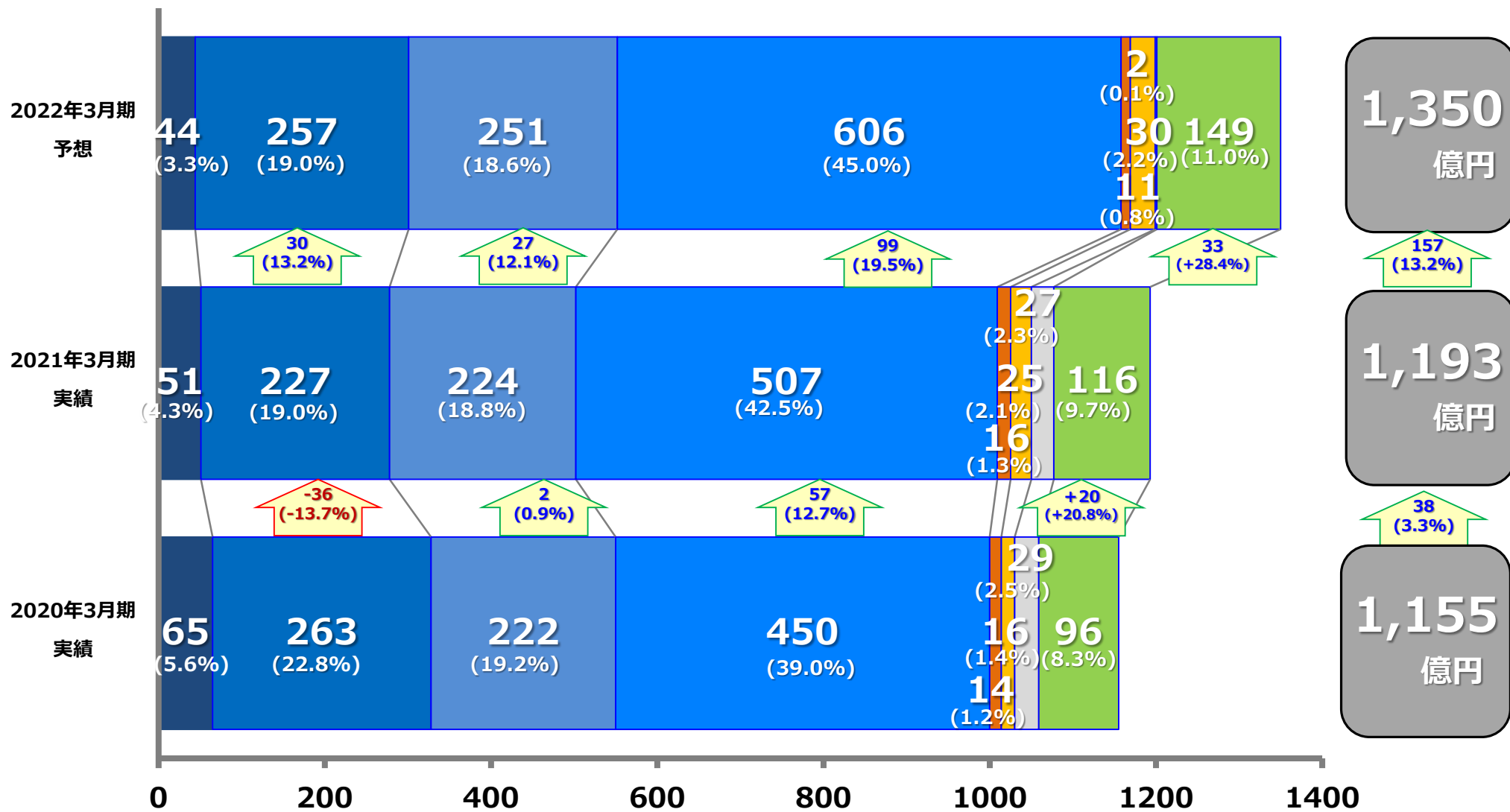
■ 車載 ■ スマホタブレット ■ AI家電/IoT ■ アミューズメント ■ ストレージ ■ 事務機 ■ デジタル家電 ■ その他 ■ EMS



仕様別売上高 実績・予想

(単位：億円)

■ 両面板 ■ 4層板 ■ 6層板以上 ■ ビルドアップ ■ 放熱基板 ■ フレキ ■ その他 ■ EMS



1

2021年3月期 実績

2

2022年3月期 予想

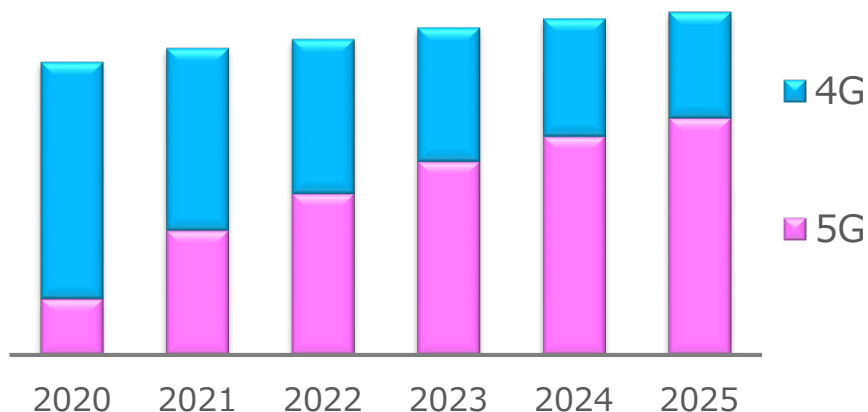
3

中期生産方針

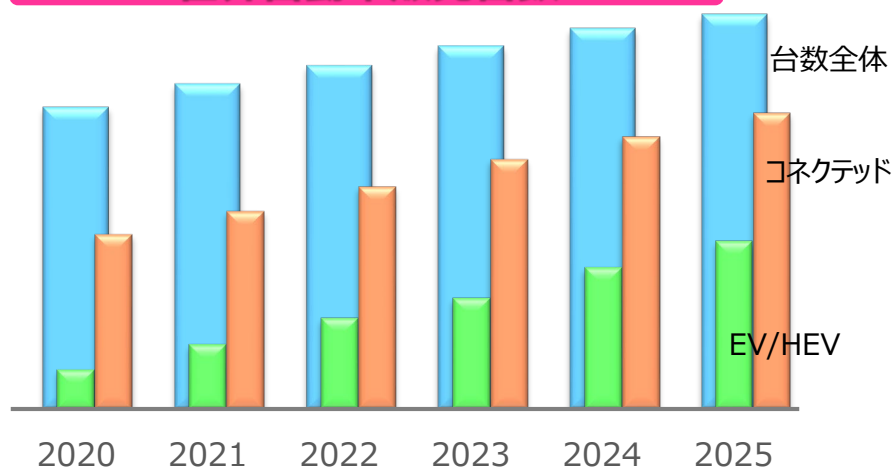
市場動向

DX実現のために、高速通信向けのプリント基板市場は大幅に増加

スマートフォン販売台数

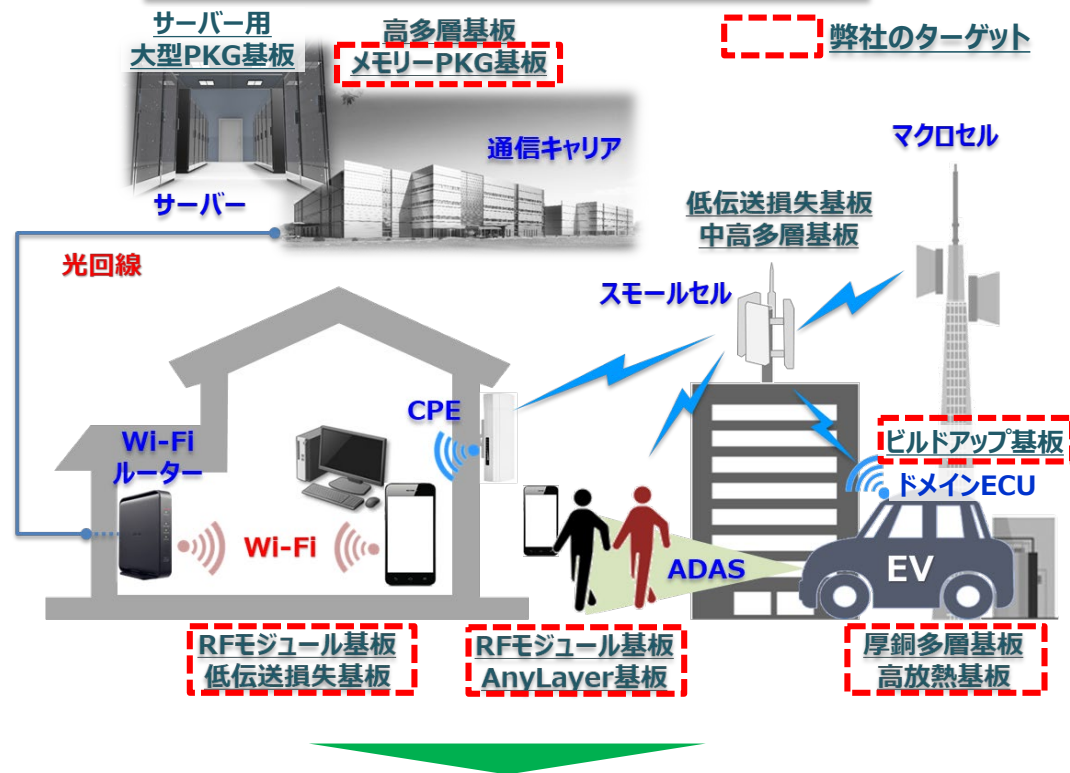


世界自動車販売台数



出所：富士キメラ総研データより当社作成

成長が見込まれるプリント基板の市場



✓スマートフォンでは5G化が進みモジュール基板が増加

✓自動車では、EV化と自動運転化で基板のハイエンド化が加速

メイコーの中期生産戦略

長年培ってきた擦り合わせ技術をベースにモノづくり改善強化を更に加速し、常に最先端分野への挑戦と幅広い商品群を整え、お客様への安定供給とサービス拡充を図っていきます。

モノづくり強化が中心

お客様へのサービス拡充



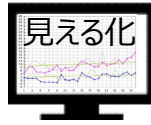
モノづくり改革への取り組み

《超高生産性の実現》

ロボット化



IoT、AIの活用



物流の自動化



ワンライン・インライン化

《防災対応》



カメラ



センシング



ベトナム防災センター



- ・IoT活用
- ・内部監査の強化

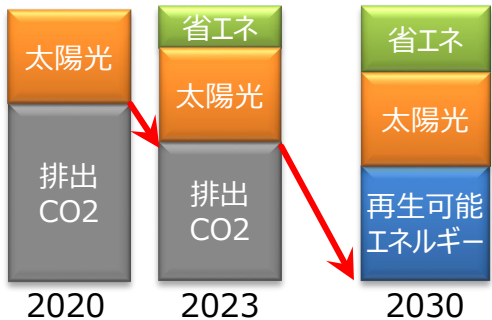
Eco Smart Factory



環境対応

《CO2削減とリサイクル事業強化》

国内モデル工場のCO2排出ゼロ活動



Au/Pd回収



Recycling



銅廃材リサイクル

防災対応

高生産性

高品質

CO2排出ゼロ

ロス改善

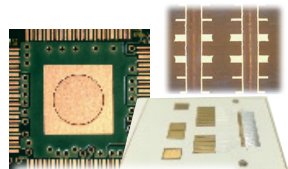
災害ゼロ

生産拠点の能力増強

車載、スマートフォン事業の増強に加え、モジュール基板分野でも世界トップレベルを目指す！

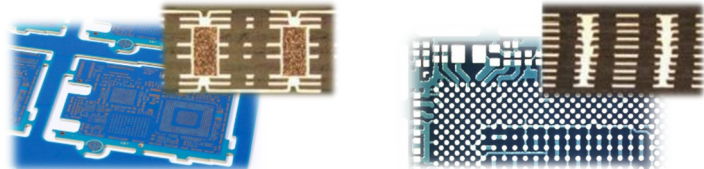
基板事業の2本柱

車載基板



放熱基板

スマートフォン基板



ビルドアップ基板

Any Layer基板



第3の柱

モジュール基板

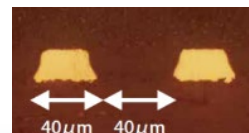


メモリー/センサー

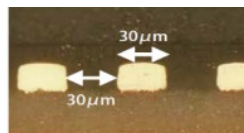


RF/アンテナ

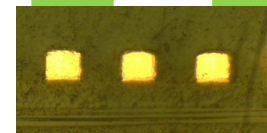
モジュール生産能力増強計画



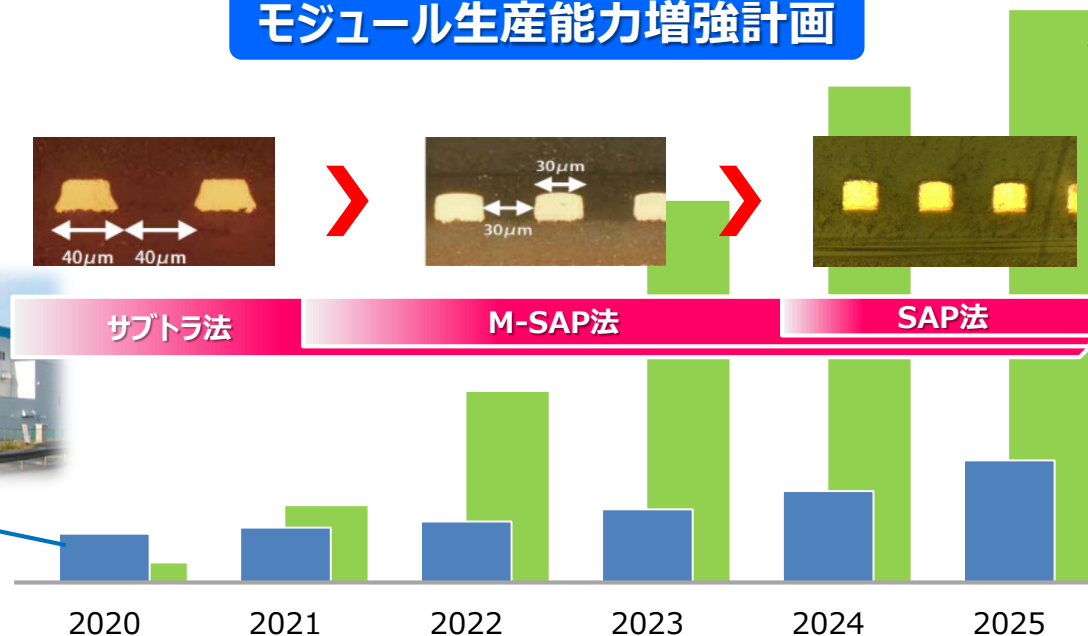
サブトラ法



M-SAP法



SAP法



石巻工場

ベトナム第3工場



設備投資

(単位：億円)

戦略投資分野 → 車載・スマホ先端分野・5G/モジュール分野

